

COP21 サイドイベントにて、「第3回 JCM パートナー国会合」を開催

- 2015年12月9日（現地時間8日）、フランスのパリで開催されているCOP21の日本パビリオンにおいて、「第3回 JCM パートナー国会合」を開催しました。
- 本国会合には、丸川珠代環境大臣とJCMのパートナー国（16か国）の代表者が出席し、JCMの進捗を歓迎し、引き続き協力してJCMを実施していくこと等が表明されました。

【丸川大臣挨拶】

本日は、JCMのパートナー国から代表の皆様をお迎えして、直接意見交換できることを、大変光栄に思います。

我が国は、優れた低炭素技術の普及による温室効果ガスの削減を行うため、JCMを推進しています。今年は新たに4か国に参加いただき、パートナー国は16か国になりました。

パートナー国の拡大に加えて、我が国は、具体的な排出削減プロジェクトへの様々な資金支援を行っております。これまでに50件のプロジェクトを実施しており、このうち8件がJCMプロジェクトとして登録されました。今後もJCMプロジェクトのさらなる形成を支援するとともに、JCMクレジットの発行に向けた取組も進めていきます。

JCMは温室効果ガスの削減を「議論」するだけでなく、同時に「実現」するものです。皆様とともに地球益を実現していく決意です。

【出席者】日本国 丸川環境大臣、星野経済産業大臣政務官／モンゴル国 バトツェレグ自然環境・グリーン開発・観光大臣／バングラデシュ人民共和国 モンジュ環境森林大臣／エチオピア連邦民主共和国 テクレマリアム環境森林大臣／ケニア共和国 フセイン環境・水・天然資源省気候変動事務局課長代理／モルディブ共和国 イブラヒム環境・エネルギー大臣／ベトナム社会主義共和国 ハー天然資源環境省副大臣／ラオス人民民主共和国 ルアンサイサナ天然資源環境省災害管理・気候変動局長／インドネシア共和国 エドウィン経済担当調整大臣府次官補／コスタリカ共和国 エスペレッタ環境エネルギー大臣／パラオ共和国 ウルドン欧州・気候変動担当大使／カンボジア王国 ポンロック環境省持続可能開発評議会事務総局局長／メキシコ合衆国 アラマン環境天然資源大臣／サウジアラビア王国 ザタリ石油・鉱物資源大臣コンサルタント／チリ共和国 シール エネルギー省気候変動ユニット長／ミャンマー連邦共和国 テツ・テツ・ジン環境保全・林業副大臣／タイ王国 シャモマン タイ温室効果ガス管理機構事務局長

